

別紙「第六次北本市総合振興計画基本構想（案）に係る市民説明会における意見等」

No.	分類	質疑	回答	関係部署
1	2 将来都市像と基本理念	基本構想にみどりを柱とするような書きぶりがあるが、昔は緑地も多かったが最近はおちこちで伐採されているように感じている。どのように保全を行うのか。	個人の土地利用に対する制限は難しく、相続の問題などで現状として緑地は減少しております。 高崎線沿線の緑地については市で保全するゾーンとして都市計画決定をしているほか、市西部の荒川沿いには緑が多く残っているので、その緑をきちんと残していく計画としております。	都市計画課 環境課
2	3 推計人口	高齢者や単身世帯が増えている現状で、自治会を抜ける人が増えている。 住民同士のつながりというのは理想だが、現実には真逆の現状となっている。つながりの強化というのはどうしたらよいのか。	今後ますます高齢者の単身世帯は増えると予測しており、行政としても課題だととらえております。自治会連合会と連携して、防犯、防災等の事例を通して自治会の必要性を広報していくなど、対応を実施しております。	くらし安全課 高齢介護課
3	3 推計人口	今後も人口が減少していくという話だが、それに対して対策はしていないのか。	全国共通ではありますが自然減が大きすぎるため、人口を増やすこと自体が難しい状況となっております。 これからは視点を変え、人口が減っていく中でどういったまちづくりをするかが重要と考えております。他の自治体から人口を奪い合うのではなく、シティプロモーションやマーケット等で市固有の魅力を磨いていき、今住んでいる人に愛着を持ってもらうことで定住人口を維持していくとともに、関係人口、交流人口の増加も目指してまいります。 次期計画期間においても強く推し進めていきたいと考えております。	市長公室 政策推進課 産業観光課 子育て支援課
4	3 推計人口	デジタルディバイドについて、高齢者にデジタルは使いにくい。どんな対応をしているのか。	アンケートを行っても70歳代と60歳代の年齢層でデジタルに関して乖離が起きている部分があります。 そのためデジタルディバイドへの対応の一つとして、広報は引き続き紙媒体で全戸配布を行っていく予定でございます。DXの推進は避けられない状況もあるので、例えばマイナンバーカード等を活用し、デジタルディバイドに対応しながらDXを進めてまいります。	政策推進課
5	3 推計人口	AIについてはどう活用していくのか。	業務の効率化を図るうえで今後AIの活用は重要であると考えており、その全庁における活用について現在検討をおこなっているところです。	政策推進課

別紙「第六次北本市総合振興計画基本構想（案）に係る市民説明会における意見等」

No.	分類	質疑	回答	関係部署
6	3 推計人口	行財政運営の項目にデジタル技術の活用とあり、電子決済と書かれているがどのような用途で使うのか。	今まで税金の支払いは銀行等で行っていましたが、デジタル技術を活用し、二次元コード等を使用して自分のスマホから支払いができるようにしております。二次元コード等を活用することで業務を効率化し、市民の利便性向上や人材不足等の問題や人件費の問題の解消を図っていきたいと考えています。	政策推進課 税務課 会計課
7	3 推計人口	人口減少の観点から他市との合併の構想はあるか。	現在において他市との合併の構想はございません。 現行の総合振興計画における基本計画の広域連携により対応していくものと考えております。	政策推進課
8	4 土地利用構想	上尾道路の整備について今後はどうなるのか教えてほしい。	現在は桶川北本ⅠCまで整備されており、鴻巣の箕田からも整備が進んでいる状況です。 今後のスケジュールは、整備を進めている国（大宮国道事務所）と連携しながら、随時情報提供させていただきます。	都市計画課 建設課
9	4 土地利用構想	西仲通線についての当面の計画について教えてほしい。	西仲通線については都市計画道路であり、市が整備を進めていく道路となっております。 久保土地区画整理事業の進みが遅くなりましたが、デーノタメ遺跡を迂回して道路を整備するという方針変更を行いました。 今後都市計画決定を変更する予定です。予算とのバランスを見ながら桶川市境から北に向かって整備を進めてまいります。	都市計画課 建設課
10	4 土地利用構想	市街化調整区域をなくし、市街化区域に編入を行うことはできないのか。	市街化調整区域を市街化区域に編入する権限は、埼玉県が有しています。 住宅系の市街化区域の拡大は、人口増加によって既存の市街化区域に収まり切らない場合の受け皿として行うものであり、人口を増加させるために行うものではありません。埼玉県も人口減少時代に入った中、住宅系の市街化区域拡大は不可能な状況です。 工業系の市街化区域を拡大するためには、市街化区域の中に取り残されている市街化調整区域の土地利用を進める必要があります、その土地利用が進まない限りほかの地域を市街化区域へと変更するのは難しい状況です。 第六次北本市総合振興計画案では、市街化区域の中に取り残されている市街化調整区域を土地利用検討・誘導ゾーンとして定めています。	都市計画課

別紙「第六次北本市総合振興計画基本構想（案）に係る市民説明会における意見等」

No.	分類	質疑	回答	関係部署
11	4 土地利用構想	なぜ市街化区域内に市街化調整区域が残ってしまったのか。	市街化区域と市街化調整区域の見直しの際、その地域は所有者の営農意欲が高かったこと等の理由により、市街化調整区域として残したという経緯がございます。	産業観光課 都市計画課
12	4 土地利用構想	北本は交通インフラがかなり整備されている現状があるので、市内で働けるような倉庫や工場を作ってほしい。 大企業の誘致については過去にはグリコが来てくれたが、その後についてなにか進めているのか。	企業誘致できるだけ大きな土地がありませんが、条件が合えば企業に来てもらえるよう対応を行ってまいります。 また、土地利用構想において、ＩＣ周辺に設定している複合的開発ゾーンについては要件が整えば物流倉庫などを誘致できるようにと考えておりますが、地権者の意向や法律の規制等との調整が必要となりますので、まずは条件を整えていきたいと考えております。	都市計画課
13	4 土地利用構想	コミュニティセンターや勤労福祉センターが廃止になるわけだが、公共施設の再編で最終的にはどのくらいの施設に集約するのか。	公共施設適正配置計画を定めており、今後、４つの市民活動交流センターに集約していく予定です。 その一つとして６月に栄市民活動交流センターがオープンする予定でございます。 なお、計画については５年ごとに見直しを行っており、施設の状況や財政状況、人口動態等をふまえて今後時代に合わせて見直しを行う予定です。	政策推進課 生涯学習課
14	その他	施設再編に併せて、８圏域のコミュニティも再編成を行うのか。	地域コミュニティについて、市の判断でその区域を区切ることはやや強行的だと考えております。 今後のあり方についてはコミュニティの方々や市民とよく話し合っていて決めていきたいと思っております。	くらし安全課 都市計画課
15	その他	こども向けの構想みたいなものを作成しないのか。	検討段階ではありますが、こども向けの概要版のような資料を作りたいと考えております。 また、策定段階ではこどもの意見を取り入れるために、まちの未来についての意見募集で市内の保育所、小学校、中学校、北本高校にチラシを配布し、意見を募っております。	政策推進課
16	その他	基金残高が約７０億円で、過去から見ると倍増している。 恐らくふるさと納税によるものだと思う。 どのように支出するのか予定はあるのか。	ふるさと納税の好調により基金が増えていますが、公共施設整備基金や減債基金、南部地域整備基金や一般廃棄物処理施設整備基金にそれぞれ１０億円程度積み立てるなど将来の負担に備える形で積み立てを行っております。	政策推進課 財政課 久保土地区画整備事務所 環境課

別紙「第六次北本市総合振興計画基本構想（案）に係る市民説明会における意見等」

No.	分類	質疑	回答	関係部署
17	その他	埼玉県南部では外国人増加によって治安が悪化している。 北本市も外国人が増加してきているが、外国人増加による治安対策はどのように考えているのか。	現状の傾向を踏まえると外国人の増加が見込まれています。 第五次計画では外国人人口は今ほど多くなかったため特段の定めはありませんでしたが、第六次計画では外国人との共生について盛り込んでいく方向です。	政策推進課 生涯学習課